

授業科目名	看護コミュニケーション			担当教員	高橋 清美	
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	看護場面における援助的な人間関係を構築するための自己表現法を習得する。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護場面におけるコミュニケーションを振り返り、現象を探究できる。 2. 他者とのかかわりの中で、自己の内面を振り返り、自身の行動を分析的にとらえることができる。 3. アサーティブな表現を理解できる 					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	看護におけるコミュニケーションについて理解する	講義	復習：当日配布資料	復習：30分	高橋	
2	プロセスレコードの概念を学ぶ ・課題1の提示（締切は後日提示）	講義	予習：教科書 p69-73、84-91 復習：課題1の作成	予習：1時間 復習：1時間	高橋	
3	プロセスレコード検討会 ・課題1 原本返却 ・検討会終了後に課題1を修正 <u>第5講義授業開始時に再提出</u>	演習	予習：配布資料を読むこと 復習：検討会後に課題1の修正	予習：2時間 復習：2時間	高橋	
4	プロセスレコード検討会	演習	予習：配布資料を読むこと 復習：検討会後に課題1の修正	予習：1時間 復習：1時間	高橋	
5	アサーティブな表現技法を理解する ・課題1再提出（講義開始時） ・患者とのコミュニケーション振り返りシート）の提示 ・振り返りシート提出締切は後日提示（提出先：教務課ボックス）	講義	予習：教科書 p56 - 67 はアサーティブな表現技法を具体的に解説しているため熟読すること 復習：振り返りシート作成	予習：1時間 復習：2時間	高橋	
6	アサーティブコミュニケーション検討会 ・振り返りシート原本返却 ・グループ単位で最も優れたアサーティブコミュニケーション事例選出 ・ポスター作製	演習	予習：教科書 p56-67 復習：配布資料の振り返り	予習：1時間 復習：1時間	高橋	

7	アサーティブコミュニケーション事例 発表会 ・各グループ毎発表 ・最優秀賞ポスター決定 ・課題2の提示（自己のコミュニケーションについて分析し、どのような課題があるのか、自分の考えを述べなさい。3000字） 第8講義開始時に提出	演習	予習：教科書 p56-67 復習：課題2作成	予習：1時間 復習：1時間	高橋
8	ケアの場面におけるアサーティブな表現を理解する ・課題2 講義開始時に提出 ・課題1返却とフィードバック	講義	予習：教科書 p56-67 復習：講義資料の振り返り	予習：30分 復習：30分	高橋
先行履修科目					
テキスト	高橋清美：はじめての看護実習 基礎からステップアップ 看護コミュニケーション. へるす出版, 2014.				
参考文献	武藤清栄：言葉を聞く人心を聴く人—コミュニケーションとメンタルヘルス—. 中央労働災害防止協会, 2001. 太湯好子：患者の心に寄り添う聞き方・話し方 ケアに生かすコミュニケーション. メヂカルフレンド社, 2002. 奥田弘美：メディカル・ケアスタッフのためのコーチング 25のコツ. 厚生科学研究所, 2006. 奥田弘美：かがやくナースのための PERFECT コーチングスキル. 学習研究社, 2006. 松崎有子：もう実習で困らない!患者とのコミュニケーション. NC ブックス, 2005. 上別府圭子・森岡由起子：サイコセラピューティックな看護. 金剛出版, 2007. Ernestine Wiedenbach：COMMUNICATION Key to Effective Nursing. 1978, 池田明子訳：新装版コミュニケーション 効果的な看護を展開する鍵. 日本看護協会出版, 2007.				
メッセージ	課題に真摯に向き合いながら、人間関係構築のための表現法を習得していきましょう。				
科目の位置づけ	本科目は、日常生活援助実習で得られた学びを礎にしながら授業の目的を達成する。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
			○	◎	
評価方法	授業への参加度 (30%)、課題1 (40%)、課題2 (30%)				